

分会ニュース

No. 7

発行責任者 多田 一夫

発行編集者 教 宣 部

会社は「研磨子落失」の原因を明らかにせよ！

大二両で、12月15日『N700系踏面清掃装置の落失防止について』という「作業指示」が貼り出された。

内容は、「11月1日に大二両の交番検査で研磨子を交換したZ21編成で11月5日に研磨子落失が発見された事象に鑑み落失の防止のために①研磨子取付板やツメの清掃を行う②研磨子取付後、取付板やツメに異物がないか手鏡で確認する③研磨子を手で引っ張って抜けないことを確認する」といった「対策」を書いたものである。

しかし「本事象に鑑み・・・落失防止のために」というが、そもそも研磨子落失の「原因」は何だったのか？「ツメ」の部分に異物がかみこんで「ツメ」の出が不十分だったのか？研磨子を取付ける装置の構造的な欠陥は無いのか？会社はどのような調査をしてどのような原因だったと判断、あるいは推定をしたのか。社員に明らかにすべきである。

11月5日に落失が発見されて以降、関係社員への度重なる事情聴取や勤務終了後に庫にZ編成を取り込んで多くの管理者立会いのもとで、「現場検証」も行ったのである。安全確保の観点からも社員に前広に明らかにすべきである。

労使協議を早急に開催せよ！

私たちは、この件について11月13日付で関西支社に申し入れを行っている。


未だに、労使協議は開催されていないが、安全に関することについては早急に労使協議を開催すべきである。

【裏面に申し入れを掲載】

J R 東海労働組合新幹線関西地区本部
2008年 11月13日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 工藤 純生 殿

J R 東海労働組合新幹線関西地区本部
執行委員長 船出 清政



Z21編成での研磨子落失に関する緊急申し入れ

11月5日、JR西日本の岡山支所で、Z21編成3号車No.2の研磨子が装着されて無い状態で発見されました。この事故は、研磨子が外れ落ち飛散する恐れがあり、安全の確保に重大な問題があります。

今回、落失した研磨子は、Z編成で新たに採用された車輪踏面清掃装置（研磨子吊りのない）方式で起きた初めての事故であり、構造的問題等いろいろな角度から原因を究明する必要があります。しかし、事故の詳細についてはいまだに明らかにされず、現場ではヒューマンエラーとして当事者の事情聴取を行いました。車両部品が落失するという重大な問題を社員へ公表する必要があるのに、当事者への責任追及が行われませんでした。

Z編成は主力車両でありこれからも増産されることから、原因究明と対策は早急な課題であります。よって下記の内容で申し入れを行いますので、早急な労使協議の場を開催するようお願いします。

記

1. 研磨子落失は安全を脅かす大きな問題であり、研磨子落失の原因が究明され対策が完全実施されるまでN700系車両の使用を中止すること。
2. Z21編成3号車No.2の車輪踏面清掃装置の研磨子落失の原因と詳細を明らかにすること。
3. Z21編成の11月1日交番検査後の運行履歴を明らかにすること。
4. これまでのZ21編成研磨子落失事故の調査内容を明らかにすること。
5. N700系車両でこれまで今回のように研磨子が無い状態で走行した車両があるのか明らかにすること。
6. この事故に対する対策を明らかにすること。
7. N700系車輪踏面清掃装置より、700系・300系車輪踏面清掃装置の方がより安全な車輪踏面清掃装置と考えるが会社の考えを明らかにすること。
8. 大阪第二車両所では、11月7日の始業点呼で研磨子落失を報告しているが、前日の6日にZ21編成の交番検査を担当した社員が研磨子落失で事情聴取をされている。事情聴取の前に社員に研磨子落失を何故明らかに出来なかったのか明らかにすること。

以上